

技術・家庭

1 なぜ技術・家庭科を学習するのでしょうか

1995年（平成7年）に阪神淡路大震災が起こりました。震災後に、「学校で何を学んでおけばよかったか」というアンケートを実施したところ、1番が道德、2番が技術・家庭科という結果が出たそうです。まさに、人間が生きていく上で大切なことは何か、人間らしく暮らしていく上で何が必要なのかを考えさせられます。

技術・家庭科は、生活に必要な基礎的な知識や技術を習得し、進んで生活を工夫し創造する能力、実践力を身につけることを目標としています。生きていく上で人間が不便な状況におかれても、よりよい生活を求めて、工夫して解決し、たくましく生きていくための力を身につける教科だといえます。

2 どんな家庭学習をすればよいのでしょうか

①まずは学んだことを家庭でやってみましょう

[技術分野での例]

- ・授業で学んだ技術や知識を家庭で応用し、家族に役立つものを作ったり、花や野菜作りを家族と一緒に実践したりする。
- ・生活に必要な情報をコンピュータを活用して調べる。
- ・家庭のエネルギー消費を見直し、合理的な利用について相談する。



[家庭分野での例]

- ・自分の成長を支えてくれる家族と積極的に関わったり、幼児に関心を持ったりしながら家庭の仕事の分担をする。
- ・栄養のバランスや好みを考えた家族の食事を準備する。
- ・衣類の洗濯や手入れをしたり災害に備えた安全な生活の仕方を工夫したりする。
- ・ものを大切にし、環境のことを考えた生活をする。



★技術・家庭科は学んだことがそのまま家庭で実践できます。授業で学習したことを家族のため自分のために行い、身につけていきましょう。

②学んだことを生かして発展させてみましょう

学んだことをそのままやってみるだけでなく、少し違うことにチャレンジしたり、さらに工夫を加えたりしてみましょう。実践したことについて、家族や周りの人に感想を聞き、改善していくのもよいでしょう。

☆人間の社会生活は、自分たちの持っている知識や技術を生かして実践してみると、そしてその中で課題を見つけ、どうすれば解決できるのかを考え、さらに工夫を加えてよりよいものを創造していくことによって、快適なものに変わってきたのです。

家庭の中で、自分にできることをまずはやってみる。

そして、さらに工夫を加えてよりよいものになるようにチャレンジする。そんな気持ちを大切にして、技術・家庭の学習を進めてください。



